

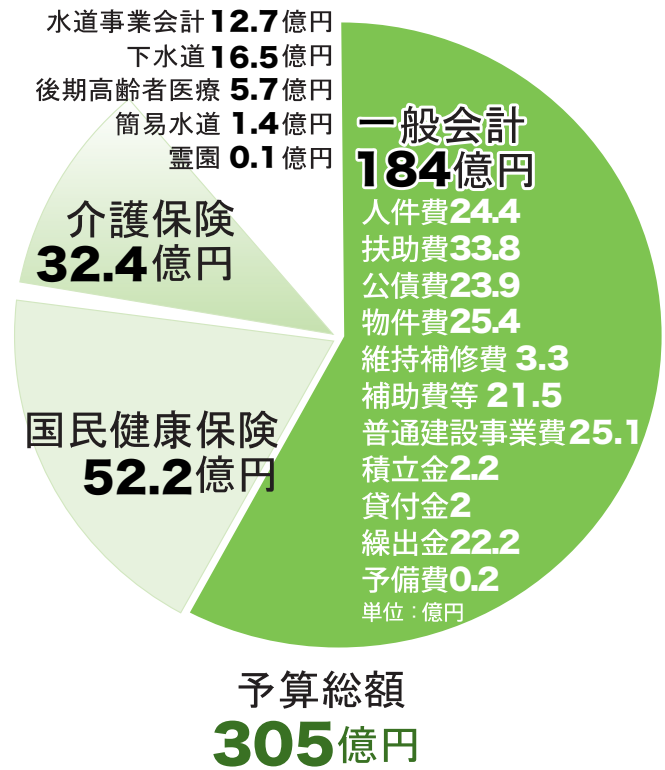
## 平成26年度予算について 予算決算常任委員会を終えて

予算決算常任委員会(大光巖委員長)において平成26年度の伊達市予算案が審議されました。一般会計の新年度予算は前年度当初予算と比較して約**19億7500万円増額**の**184億円**となりました。

新聞では過去最高の当初予算との記事もありましたが、今回市長が強調したのは、借金に対する財政規律でした。

これまでも財政健全化の中で、起債(新たな借金)の上限を設けてきましたが、残債があまり変わらずに推移。今回は元金返済額の**75%以内**という目標を掲げることで、毎年**5億円**ずつ残債を減らしていけるという道すじをつけました。結果的に今回は**78%**となりましたが、大型事業が相次ぎ、将来負担も心配されていましたので、議会としても、この独自ルールを評価しています。

予算詳細につきましては、市の広報紙やホームページを参考にご覧ください。この議会だよりでは、質疑のあった項目をピックアップしてご紹介いたします。



### 指定管理委託料 - 増大するランニングコスト

行政改革の一環として公共施設の管理の見直しが叫ばれ、本市も多くの公共施設が指定管理へと移行しました。最近では、観光物産館、総合体育館、新しくできたプールとトレーニング室も指定管理となっています。指定管理にする効果は、民間事業者が新しい発想で管理運営を行ってくれる可能性や維持管理コストを下げられる可能性が期待できるとされていますが、実際本市のような地方都市では都会とは違い、管理者に名乗りを上げる事業者が複数いない中で、競争原理によるコスト削減は期待できません。また新しい発想も条例で定められている使用料以上の収入をあげることが難しいことで、指

定管理者も思いきった方策を打ち出すことができないのが現実です。新年度予算では、以下施設の指定管理料も計上されました。これが施設維持にかかる固定経費となっていきます。またこの他に修繕費なども発生します。公共施設はコストバランスの対象とすべきではないという意見もありますが、工夫の余地はあります。佐賀県武雄市のスターバックスのある図書館も極端な例かもしれませんが、これからの公共施設管理のヒントになっています。市民の皆さんからもアイデアを寄せて頂きながら、より良い管理運営を提案していきたいと思えます。

#### 主な指定管理委託料

9,720万円	歴史の杜カルチャーセンター(伊達メセナ協会)
4,900万円	新プール・トレーニング室(体育協会と苫小牧スコール)
4,708万円	総合体育館(体育協会)
3,980万円	潮香園(社会福祉法人 道塾会)
2,283万円	観光物産館・黎明観(伊達観光物産公社)
2,148万円	体育施設(武道館、館山野球場など 体育協会)
1,838万円	大滝交流施設(優徳・本町PG場等 大滝まちづくり)
1,833万円	コミュニティセンター(東、有珠、黄金、長和)

この他に、まなびの里パークゴルフ場、大滝有機物再資源化センターなどがあります。

### 国保被保険者減少に転じる **299人減少** **52.2億円(1.84億減)**

国民健康保険の被保険者数が前年度当初予算時見込み**9443人**から**9144人**へと**299人**減少に転じました。その理由について答弁では、「以前は後期高齢者医療制度への移行分以上に転入転出分が上回っていたので、被保険者数はのびていたが、**24年、25年**の傾向として転入転出分が減少し、後期医療への移行も増えて、結果として**26年度**は国保被保険者数は減少に転じることとなった。しかし医療費の増加傾向は変わらない。また低所得の被保険者が増加しているため、保険税収入は減少。被保険者の減少は、国からの交付金も減少するので、全体として前年度予算より減額となった。」

すでに本市は国保会計だけでは、成り立たないことから、一般会計からの繰入(**5.7億円**)でしのいでいますが、上限の引き上げなど小手先の改正では、将来が不安です。

引き続き市民の皆さんには、新しいプールとトレーニング室もできましたので、医療費の抑制にもつながる健康管理をお願いします。

## 野菜栄養素分析事業

**850万円**

伊達産野菜のブランド化を目指して、昨年から野菜栄養分析を行っています。

分析をしている品目は6品目(いちご、ブロッコリー、ほうれんそう、きゃべつ、たまねぎ、トマト)。2年目となる今年は「検体の取り方で中身が違うことがわかったが、数年続けて分析していきたい」と答弁。細かく分析することで本来持っている伊達産野菜の美味しさの根拠とどうすれば美味しくなるのかのヒントも得られるとのことで、引き続き予算が計上されました。科学的な根拠が明らかになることで、伊達産の価値が高まることが期待されています。

## 西いぶり広域連合負担金

**5.15億円**

消防広域化と火葬場について

西いぶり広域連合で検討している消防広域化と火葬場について、決着はいつになるのかという質問に対し、市長は消防広域化は理事者側はブレていないが、制服組と意向が合わないことが何度も繰り返されてきた。そろそろ限界なので1市3町の首長で意思統一し、自分が代表して意見を言うことになったので、26年度中には方向性をすっきりさせたいと答弁。

火葬場については、費用がどうなるかということが大きな問題で統合によって、どういうメリットがあるのか数字で示すための精査をしている最中と答弁。数字が出たところで議会を含めて、関係者に説明し、判断を仰ぎたいとのこと。26年度中には粗々の方向は出せるとも答弁しました。

## 教育旅行誘致事業

**8.5万円**

平成25年度の実績として札幌を中心とした204の小中学校を対象に52校へアプローチ、結果32校が来てくれたことが報告されました。新年度も引き続き、多くの学校に来てもらうよう取り組むこととなりました。

市では観光政策の一環として昨年からは積極的に取り組んでいます。北黄金貝塚での発掘体験は教育的効果が高いということで、多くの自治体教育機関から注目されています。

## 防犯灯 LED 化の推進

**271万円**

これまで市は防犯灯設置に対して各自治会に4万円まで助成をしていましたが、新年度からLED型防犯灯設置に対して6万円まで助成することとなりました。

このLED化推進については、議会からも一般質問などで推進に向けての意見が出されていたものです。現在市内には3226基の防犯灯が設置されていて、新年度は新設で30基、既設電灯部分取り替えで70基分が予算として盛り込まれました。

ジャガイモ  
シストセンチュウ対策**10.8万円**

稀府地区の農家でジャガイモシストセンチュウが確認されました。このシストセンチュウは、マイナス30度から50度まで死なない性質で、一度発生が確認されたら、その畑ではじゃがいもを作ることができません。今回の予算では、稀府地区全域のシストセンチュウ調査が必須となったことから、その補助を計上したものです。根菜類以外の作物をつくることはできるようですが、悪い結果が出ないことを祈るばかりです。

## 市道旭ヶ岡線 (29年完成予定)

**4,241万円**

にれの木団地前、市道旭ヶ岡線には保育園、子育て支援センター、そして今春新しい児童館もオープンし、往来が増えています。委員会では舟岡中通りとの交差点接続部分は見通しも悪く危険との指摘がなされ、できるだけ早く工事を進めるべきではとの意見がありました。それに対して、行政側からは完成は29年だが、舟岡中通りとの接続部分については、早めに用地買収を行い、民地をセットバックすることで、見通しの悪さは解消できると答弁。

この旭ヶ岡線の先は伊達小学校へ通じる二号橋を含めた道路橋梁の拡幅も将来計画となっており、信号機の設置も希望が出ています。国のメニュー次第という台所事情もありますが、できるだけ早い整備が求められています。

## 包括外部監査実施事業

**800万円**

2カ年の計画で実施している包括外部監査ですが、平成25年度の結果がまとまり、予算委員会前に全議員に報告書が配布されました。

この全257ページの報告書の中で、一番多くのページ(47ページ)を割いて指摘しているのが市営住宅についてでした。外部監査の指摘は、公営住宅はそもそも住宅困窮者のための施設だという点。これがしっかり守られているかについて、甚だ疑問だとする見解をいくつかの事例とともに指摘がなされています。

例えば滞納者への対応や入居後、高額所得となった世帯への対応や退去後の修繕に関する考え方など、今回はまだ報告が出されたばかりで、責任のある答弁を引き出すことはできませんでしたが、滞納が深刻な公営住宅管理の中で、参考となるものばかりでした。

委員会では監査報告書の指摘を示しながら、その状況を確認する場面がありました。新年度以降、この市営住宅に限らず外部監査指摘事項を題材として、条例改正などの対応を迫る質疑が予想されます。市民の皆さんには、まずこの包括外部監査報告書を読んで頂けたらと思います。

(報告内容につきましては、伊達市ホームページをご覧ください。)

都市再生整備事業  
駅前駐輪場の撤去**112.6万円**

今回の予算で駅前駐輪場が撤去されることとなりました。質疑の中では、現在の使用状況として昨年夏の最盛期の調査で33台が利用しているとの報告と、撤去後全体計画では、自由通路付近に30台程度と西浜側にも20台程度の駐輪場を設置との計画が示されました。

問題は自由通路を含めた新しい跨線橋計画に対してJR北海道がいつゴーサインを出すかということ。

これについては一般質問でも話題となりましたが、この5月には何らかの回答が示されることとなっています。

